

【将来像・教育目標】・・・「保護者、市民からさらに信頼され、選択される幼稚園を目指して」

最重点目標(KPI)	具体的目標(数値化)	ロードマップ(戦略: 何を・いつまでに・どのように)						アクションプラン
		2018年度	検証	2019年度	検証	2020年度	検証	考え方・内容、反省・改善策
I. 入園者確保策に向けて (全学年定員充足) ・入園前の児童への教育 と参画	① 3歳児の入園確保 (55名)	48名 (5/1現在)		55名		55名		・募集広報活動の検証 ・結果と改善策を協議 ・無償化の影響度調査
	② 未就園児対象子育て支援事業 の充実 (18回)	毎回定員オーバーの申込み 17年度 8回実施→ 18年度 16回に拡大 (定員17名)		回数の拡大・具体策 夏季休暇中に2回		年間 18回開催		・開催回数と内容の検証 ・入園前の体験を増加 ・短大との連携強化
	③ 夏季預かり保育の充実 (10日間実施)	7日間 9:00～16:00 (現行) 1日平均60名		夏季休業中、後半に2～3回実 施 (9:30～14:00)		夏季休業中に10日間実施 (9:30～14:00)		・短大との連携強化 ・働き方改革
	④ 2歳児の受け入れ (20名程度)	受入体制の構築		受入のための具体策実施 (6月より2クラス/1クラス10名)		20名程度		・子育て支援教室の環境整備 ・子育て支援教室の利用(短大連携) ・保護者アンケートの実施
II. 教育の質の向上策 ・教職員の質向上 ・教育課程の見直し	① 教員の資質向上策 研修参加事業	近畿地区私立幼稚園教員研修 大会(奈良)で体力づくりの発表 全国学校歯科保健(沖縄)で発 表		・近畿地区私立幼稚園教員研 修大会(兵庫) ・1人1回以上研究会に参加		近研大会(滋賀)運営スタッフ 1人1回以上は研究会に参加		・報告書の提出 ・職員会議で発表(伝達研修)
	② 幼児造形研究大会の 指定会場園	会場提供、講師、スタッフとして 協働できる体制 (16年度から3年目)		4年目大会		5年目大会		・絶好の教職員研修の場 (短大・幼稚園との連携) ・協働体制の強化
	③ 教育課程の見直し	新教育要領への対応 キッズ英語・歯科保健の位置付 け		学年、時期、領域別の配置の 整理、大学との連携		文科省研究開発校に向けて (教育課程と地域)		・2歳児保育の視点も入れながら、時代の先端 をいく教育課程の創造
	④ 教育施設等の充実	事務の簡素化 ・クラスパソコンの導入 ・らくらく園児システムの導入		施設の老朽化に伴う安全対策		体力づくりの更なる推進 室内ボルダリングの設置		・2020年度 40周年記念事業
III. 組織体質の強化 ・外部の意見吸収 ・効率化、合理化	① 第三者評価の充実	現行 年3回 「教師の自己評価」「外部評価」 の実施		第三者評価の充実 先進地視察		第三者評価開始		・評価者委員会委員の選定・課題の対策 ・実施要項の作成
	② 職員研修の充実	外部講師による研修会の開催 年2回、特別支援		・職員研修の充実① ・全日私幼連作成のテキスト活 用		・職員研修の充実② ・テキスト等の活用		月1回、職員会議後の時間を活用
	③ 園務分掌の活性化	活性化度60%(現状) 業務内容の洗い出し・見直し		職員提案 1件以上		職員提案 2件以上		・提案制度 ・職員の意識改革、人事評価制度の活用 ・預かり保育のあり方

※中長期経営計画「すみれ2030」の期間…2018年度～2030年度とし、第1弾・第2弾・第3弾に期間区分して進捗管理する。

※学園全体の重点目標(KPI)に基づき、各部門の中期目標、ロードマップ、アクションプランを設定。中期目標項目(4つに拘らない)の増減は各部門にて考慮すること。